

法華經の科文（經典を解釈するに際して説意にしたがい文章に段落を設けて説明する方法）

◇一經三段（序分、正宗、流通分）と◆二門（迹門と本門）六段、▽一処三会、
※起顕竟→『新尼御前御返事』「此の御本尊は教主釈尊五百塵点劫より心中におさめさせ給いて、世に出現せさせ給
いても四十余年、其の後又法華經の中にも迹門はせずきて、宝塔品より事をこりて寿量品に説き顕し、神力品属累に事
極りて候しが、・・・」

